

健康で快適な居住環境づくり

だいじょうぶですか？ あなたの住まい

ダニ・衛生害虫編



埼玉県

君は、私たちの回りにどんな虫がいるか知っているかね？

住まいの中にも知らず知らずに多くの虫が生息している。



虫



身のまわりのイヤな虫たち

● 衛生害虫とは？

人に衛生上の害を与える虫を衛生害虫と呼びます。もともとは伝染病を媒介する虫が対象でしたが、今では、人に不快感を与え、気持ちの悪い虫たちが主役になっています。

● 衛生害虫の発生の特徴は？

身のまわりの多くの衛生害虫の発生は人の生活に依存している面が大きく、基本的には、害虫の発生を許すような環境を整備し、改善することによって、その発生を抑えることができます。便利な殺虫剤がたくさん市販されていますが、乱用せずに適切な使用を心がけたいものです。

● 衛生害虫による被害は？

最近の被害苦情は不快感が主ですが、蚊やダニによって媒介される日本脳炎やツツガムシ病もときどき発生しています。また特に、一般家屋の室内塵中に発生するダニ類によるアレルギー性疾患は、住まいに起因する深刻な問題です。

さらに、虫による食品混入異物の被害も少なくありません。

● 衛生害虫への対応は？

害虫、という名の虫はいません。みな名前を持ち、それぞれの生活をしているだけです。その虫の名前を知り、生活様式を知ることが、不安を除き適切な対応を行う上での第一歩です。

除湿など住まい環境の改善や厨芥類の始末、清掃の徹底などが駆除の基本になります。殺虫剤の使用は最後の手段です。

住まいの中のイヤな虫

～ 家の中で出会うイヤな虫で、特に相談や苦情が多いもの ～

1 チャタテムシ類

ダニと間違いやすい体長1.5mm以下の、褐色をした微小な昆虫で、カビが主食です。

(被害)

刺したり咬んだりせず、少数であれば、あまり気にすることはありません。乾燥食品に発生することがあります。

(駆除)

湿気を好むので、換気をよくし、室内の乾燥を心がけます。消毒用アルコールで室内のカビを拭き取ることも効果的です。



2 カツオブシムシ類

2, 3種類ありますが、成虫よりも、室内をはっている幼虫の方がよくみつかります。幼虫は、赤褐色で長短の剛毛を密生した小さな毛虫です。

(被害)

幼虫は動物性乾燥食品や衣類を食害し、特に毛織物、絹織物が好物です。家屋や人に対する害はありません。

(駆除)

発生源を見きわめることが第一です。乾燥食品の密封や、収納衣類の手入れを心がけます。

ヒメマルカツオブシムシ



↑ 幼虫

成虫 →



ヒメカツオブシムシ



↑ 幼虫

成虫 →



3 ノシメマダラメイガ

1 cm程度の小さな蛾で、穀類とそれを原料とした菓子、パンなどの害虫として世界的に有名な虫です。

一般の住まいの中では、台所や居間などによくみられます。

(被害)

典型的な食品（穀類）害虫です。

食品から離れて徘徊している幼虫が目につきますが、人や家具への害はありません。

菓子、チョコレート、パンなどの製品に混入することがもっとも多い虫です。

(駆除)

発生源を見きわめることが第一です。必ず食品から発生しているので、処分するか密封します。



成虫



(幼虫：最大1 cm)

4 小バエ類(チョウバエ、ショウジョウバエ、ノミバエなど)

住まいの中で、イエバエやクロバエなど大型のハエをあまり見なくなりましたが、大きさが2～3mmの、小バエといわれるハエ類の相談が増えています。

チョウバエ類——汚水に発生し、風呂場や台所、などの水回りに普通にみられます。

ショウジョウバエ類——野菜屑や果物、糠などに集まります。

ノミバエ類——腐った動植物質に発生し、食卓上などを素早く歩きまわっています。

(被害)

・いずれも不潔感が一番です。食品に混入することもあります。

(駆除)

- ・チョウバエ類——流しや風呂場の水はけを良くし、排水溝に汚れを溜めない。
- ・ショウジョウバエ類、ノミバエ類——厨芥の始末が基本です。また、腐ったものを放置しないよう清掃を徹底します。

チョウバエ



ショウジョウバエ



ネコノミ



5 ノミ類(ネコノミ、イヌノミ、ヒトノミ)

最近のノミによる被害は、ほとんどネコノミが原因で、庭やベランダに出入りするノラ猫が持ち込むことも多いようです。幼虫は微小なウジ虫で、有機物の多い床面のゴミを餌にして育ちます。

(被害)

屋内における、典型的な吸血害虫です。

刺されるところは、膝から下、足首のあたりに集中します。

(駆除)

ペットのネコやイヌのノミを取除きます。また、掃除機で床面の卵、幼虫・成虫を十分に吸い取ります。

チャバネゴキブリ



6 ゴキブリ(チャバネゴキブリ、クロゴキブリ、ヤマトゴキブリ)

ゴキブリは、住まいの中のイヤな虫の代表と言えるでしょう。雑食性で特別な好みはないようですが、米ぬかによく集まることが知られています。

また、水をよく飲むことが、ゴキブリの特徴的な習性です。
チャバネゴキブリ——寒さに弱く、都市部のビルや飲食店に多くみられます。

クロゴキブリ——一般家屋に生息しています。

(被害)

- ・不快感、不潔感で嫌われます。
- ・食品に混入することもあります。

(駆除)

- ・台所周辺の清掃、整理整頓が基本です。
- ・放置された厨芥、油污れ、食べこぼしが餌になる。
- ・流しに残った水滴でも水の補給源になります。

クロゴキブリ



7 室内塵中のダニ（ヒョウヒダニ類、コナダニ類、ツメダニ類）

室内の塵を詳しく調べると、20種類以上ものダニが見つかります。

それらのうち、普通ではヒョウヒダニ類の数がもっとも多く、どこの家にもいるダニですが、肉眼で気がつくことはまずありません。

また、畳が新しい時期にコナダニ類が大量発生したり、それに伴ってツメダニ類が多発することがあります。

「ダニが生息しやすい環境」

- 1 温度：25～30℃前後
- 2 湿度：60%以上
- 3 エサ：人のフケ、アカ、カビ 食べこぼし等
- 4 場所：湿気を適度に含む畳、布団、カーペット等

（被害）

- ・ヒョウヒダニ類・コナダニ類とも人を刺しません。
- ・ヒョウヒダニ類は、その死骸や糞などが原因で、アレルギー性の喘息やアトピー性皮膚炎を起こしたりします。
- ・コナダニ類は、食品害虫であるほか、肌につくとムズムズすることもあり、大量に発生した群れを見て不快感を与える。
- ・ツメダニ類は人を刺すことがあります。
特に、ミナミツメダニという種類が、新築後2～3年の新しい畳からたくさん発生して、皮膚炎をひき起こす例が目立ちます。吸血はしません。

（駆除）

ダニ対策のためには、日頃の住居管理に心がけることが基本です。

- ・畳やジュウタンに、こまめに掃除機をかけることが第一です。（畳1畳あたり、30秒から1分）
- ・室内の風通しを良くし、乾燥を心がけます。
- ・寝具・畳・じゅうたんの日光干しを行う。
- ・乾物食品は密閉容器に保管します。
- ・畳に発生したツメダニ類の駆除には、畳に熱をかけて殺す方法もあります。

（その他、吸血性のダニ）



イエダニ

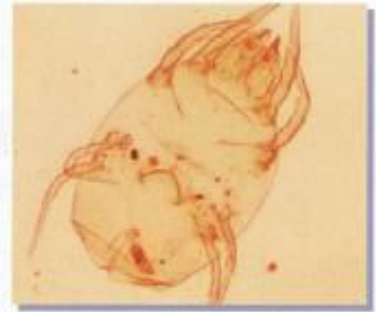
本来は、ネズミのダニで、人に移って激しく吸血する。



トリサシダニ

鳥に寄生するダニで6月～7月に多発。
軒下に巣くったムクドリやスズメに寄生して、巣立ちしたあと人に寄生し吸血する。

チリダニ



コナダニ



ミナミツメダニ



住まいまわりのイヤな虫

～ 屋外で急にたくさん発生し、洗濯物にたかったり
屋内にも侵入する虫です。～

1 タカラダニ

まさに新顔の不快害虫です。5～6月頃、コンクリート建物やモルタル仕上げ住宅の外壁や屋上、ベランダ、ブロック塀などに、1mm程度の赤い虫が多数徘徊します。日当たりの良い場所で活発に動きますが、詳しい生態は不明です。

(被害)

- ・ダニの一種ですが、人が刺された被害はありません。
- ・洗濯物にたかって、シミになることがあります。
- ・屋内にも侵入しますが、住みつくことはありません。

(駆除)

- ・生態がよくわからないため、完全な駆除は困難です。
- ・殺虫剤も効きにくいようで、屋内に侵入したものは、掃除機で吸い取ります。



タカラダニ

2 ヤケヤスデ

2cmあまりの体に60本(30対)ほどの脚をもつ小動物です。腐植土、堆肥、落葉などの多い湿った場所が住みかで、これらを餌にしています。まわりに自然が残る、郊外の新興住宅地など、梅雨期(6月～7月)に大発生することがあります。

(被害)

- ・咬みつくことはありません。
- ・肉食性で人を咬むことがあるムカデとの区別が大事です。ムカデは群がりません。
- ・大量に塀や壁を這い登ったり、室内に侵入して不快感を与えます。また、刺激すると不快臭を発散します。

(駆除)

自然環境における完全な駆除は困難です。住まいまわりの落葉などのゴミを取り除きます。屋内への侵入を防ぐために、粉末の殺虫剤を、家を囲むように帯状に散布する方法もあります。

ヤスデ



3 マルカメムシ

- ・大きさは5mm前後、黄褐色で一面に黒い点があり、洋服のボタンのような丸い形をしています。
- ・10～11月の天気の良い日に、家の中へ多数侵入してくる事があります。
- ・新しい住宅造成地や線路の土手、雑草の多い傾斜地によく繁殖するマメ科植物のクズを好み、発生源となります。

(被害)

- ・植物の汁液を吸いますが、人を刺しません。
- ・住まいの中へ侵入してくる不快感とともに、カメムシ類特有の悪臭が最大の問題です。

(駆除)

- ・付近に発生源のクズがあるはずで、これをなくす事が第一です。また、侵入防止のために、網戸を活用します。

マルカメムシ



4 チャドクガ

サザンカ、ツバキなどの庭木に発生し、成虫の翅を開いた大きさは2.5～3 cm程で、オスは黒褐色、メスは黄色です。幼虫は黄褐色に黒い筋のある毛虫で、集団で行動します。

(被害)

- ・幼虫の毒針毛（成虫の体にも付着している）に触れると、痒みの強い皮膚炎を起こします。
- ・成虫は灯りに飛んできて、毒針毛をまき散らします。

(駆除)

- ・小さな幼虫が群がっているうちに、葉ごと摘み取って始末します。

チャドクガ幼虫



成虫



5 ハチ類 (スズメバチ、アシナガバチ)

ハチ類は、家まわりの軒下、屋根裏、庭木などに巣を造り生活します。

スズメバチ (コガタスズメバチ、キイロスズメバチ)

巣の形がボール状で、9月頃がもっとも攻撃的で、危険です。特に、オオスズメバチは獰猛です。

アシナガバチ (フタモンアシナガバチ、セグロアシナガバチ)

巣はじょうごの形をし、攻撃性もスズメバチと比べて弱い。

(被害)

- ・スズメバチに刺されると激痛があり、赤く腫れます。
- ・死にも至る全身性のショック症状を呈すこともあります。
- ・ショック症状はアレルギー反応であり、体質と関係し、過去にも刺されたことのある人に起きやすくなります。
- ・アシナガバチを洗濯物と一緒に取り込んで刺されることがあります。

(駆除)

- ・まず、ハチを刺激しないようにします。
- ・巣に近づき過ぎるのは危険です。
- ・スズメバチの巣の除去は専門家にまかせるのが無難ですが、自ら行う場合には、ハチの活動が停止する日没後にします。

スズメバチ



スズメバチの巣



アシナガバチ



アシナガバチの巣



6 シロアリ（ヤマトシロアリ）

羽アリが出て気づかれることが多く、ヤマトシロアリの羽アリの出現は、4～5月頃の昼間に限られます。

灯に集まる習性はありません。

シロアリは4枚の羽の大きさがみな同じで、腰のくびれがなく、羽は簡単に落ちてしまいます。

普通のアリの羽アリとの区別が大事です。

家屋内では、常時多湿の場所が被害を受けやすく、台所の流し台や床下、風呂場などに好んで寄生する。

羽アリ



兵アリと働きアリ



「シロアリと羽アリの見分け方」

シロアリはアリと似ていますが、アリとはまったく違った種類の昆虫で、アリの仲間ではありません。

	シロアリ（羽アリ）	アリ（羽アリ）
触角	数珠状をしている	「く」の字形をしている
羽	4枚とも同じ大きさで同じ形	前羽は後羽より大きい
腰	細くなっていない	蜂のように細くくびれている
時期	4月中旬より5月頃 昼間	8月下旬より9月頃 夜灯りにあつまる
図	